

トヨタ「JPNタクシー」 改良型3月発売へ

車いす乗降作業 3分に短縮

トヨタ自動車はタクシー 披露した。来月から発売す
専用車の「JAPANタク 販売済みの1万台余に
シー(JPN TAXI) 関しても順次、部品を無償
を一部改良し、車いす利用 で交換する。改良では併せ
者の乗降時間を短縮できる て、標準装備の衝突被害軽
ようにした。4日、報道向 減ブレーキ(自動ブレーキ)
の説明会で実車を用いて の対象物が物だけでなく、

昼間の人にも拡大された。 枚のうち、延長用の板は金
今回、スロープ板を改善 属製の折り畳み式から、強
し、作業工程を3分の1に 化プラスチックのステップ
簡素化。これまで設置に7 に変え、もう1枚の板を載
分ほどかかっていたが、3 せるだけで使える。作業手
分くらいでできるといふ。 順を書いたラベルを見える
改良点は主に、ベルト類 位置に貼り付け、マニユア
を入れていた収納袋をなく ルを見なくてもできる。
し、常設するポケットから さらに、電動スライドド
すべに出せる。スロープ2 アの開閉時間を5秒とし、
実際に試した宮園自動車

業時間は4分程度に縮まる
ようだ。

説明会でトヨタの粥川宏
・製品企画チーフエンジニア



車いすの固定ベルトを収納する
ポケットを開発。袋から出し入
れしていた手間がなくなった

1・5秒短縮。高齢 の浅野貴之さん(58)は
者の肩痛に配慮し、「今までとは全然違う。作
料金トレーの位置を 業工程は大幅に減り、分か
10秒下げた。リアワ りやすい。特にスロープの
イパーには一定時間 取り付けは簡単。3分は切
を置いて動く間欠機 れると思う」と話した。
能を付けた。

JPNタクシーは201

既販車の無償交換 7年10月発売。東京を中心
は今月から行う予 に全国で導入が進んでいる
定。延長用の板を交 が、スロープ板の設置作業
換し、車いすの固定 が複雑で利用者を待たせた
ベルトを簡単に付け り、乗車拒否につながった
られる金属リングや りして社会問題化してい
収納ポケット、ラベ た。トヨタと全国ハイヤー
ルも配る。スロープ ・タクシー連合会(川鍋一
などは改良型と同じ 明会長)は改善策を協議し
にはならないが、作 ていた。

スロープ板2枚のうち、
接地するほうがプラスチ
ック製に。もう1枚を載
せるだけで使える(4日、
東京・水道橋)